

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アーヤ本巣		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 3月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年 2月 10日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 18日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月1回の家族参加イベントの日が設けられていることにより、事業所に対する理解ができる。自身の子どもがどのように過ごしているかも見ることができ、安心できる	事業所にどのような職員がいるか、どのような食べ物が提供されているか、お子様がどのように過ごしているかなどがわかることでご家族は安心できると考えるため、毎月の家族支援の日を用意している。(冬の時期はお休み) その際に、お子様の事業所での様子を伝えご家庭での様子も伺い、情報共有している。また、親御様のお悩みもヒアリングして、相談にもっている。	イベントの活動内容にバリエーションをもたせ、今まで参加されなかった親御様にも参加していただけるように考えていく。
2	専門的知識や経験豊富な職員が支援にあっている	保育士経験の長い職員、教員経験の長い職員の両方を配置し、保育の面からも勉強や教育の面からも専門的な支援が行えている。また、心理系の資格をもつ職員、調理師や食育等、職に関わる資格を持つ職員もあり、それぞれが明確な専門性をもって支援している。	今後、言語聴覚士や作業療法士等の、療育により密接な資格を持つ職員の採用も積極的に行う。また、それぞれの専門的知識や経験を職員全員で共有し、全員の専門性を一緒に底上げしていく。
3	何か相談した時の対応が早い	いただいたご相談や苦情はその日のうちに対応することを徹底している。必要があればその日にご家庭まで伺い、説明したりご相談にのったりすることを心がけている。その日のうちに対応できないものはその旨を親御様に伝えて時間をいただき、関係機関各所と連携して、後日親御様に連絡する。親御様を不安にさせないように、安心して通っていただけるように、日々迅速な対応を心がけている。	市町村の役場や相談支援事業所など、関係機関との連携を強め、さらに親御様にとって望ましい結果が出せるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一部の親御様がまだアーヤ本巣の体制や仕組みを理解できていない部分がある	2025年6月に新規オープンしたばかりのため、社内体制やルールが変わること、まだルール決めができていない部分があり、うまく保護者様に周知してこられなかった	もうすぐオープンから1年が経ち社内体制もかなり整ってきたため、親御様が迷われた部分は口頭や紙などの手段によってわかりやすく伝えていく
2	地域の他の事業所や人々など、外と交流する機会がない	保護者からの要望が特になく、また、初めての方々との交流が児童にとって必ずしもいい影響ばかりではないことも鑑み、慎重になっていた。また、事業所自体も地域における新参者のため、まずは事業所として地域住民に認知されるところからスタートだと考えている	今後、保護者から地域との交流も行なってほしいという要望が出てきた場合には、検討していく
3	2単位事業所としては、少し手狭だった(改善済み)	面積基準は満たしていたためルール上は問題はなかったが、放課後等デイサービスの高学年の子が増えてきたこと、契約者も増えてきたことから大きく体を動かすことはできないという意味で狭さがあった	3月に事業所移転により、今より約5倍の広さの療育スペースが確保できるようになった

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 アーヤ本巣

公表日 2026年3月20日

保護者数 22人 (2026/2/1時点)

回収数 17

	チェック項目	はい				どちらとも いえない		いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	いいえ	いいえ	わからない						
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	5	3	2			移転してからは良いと思う 移転先に期待 受け入れが多いとスペースが限られてくる	3月に事業所を移転しこれまでの約7倍の広さを確保	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1		3					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16			1			小さい子どもが使う部屋を見たことがないので 分からない		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1		2			広くて、過ごしやすいと思う		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2		1			専門の先生が多く、接し方など共有されていると感じ る		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	1		2					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17								
	8	放課後等サービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			3					
	9	放課後等サービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17								
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	1		2					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	2	9			最近少ない？スイピアに行きたい	他児童との交流は慎重に検討していきたいが、お出かけ頻度は増やしていく予定	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17								
	13	「放課後等サービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	16			1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2		2			月1の家族支援の日を楽しみにしている		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1	1				1日の出来事の日報が無くなってしまったので日々の生活の状況が分からなくなりました	日々の報告として、写真送付と送迎時のご報告を行っている。それ以上の情報共有が必要な親御様には電話等により別途行っていく	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	2		3					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16			1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか、また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	1		4					
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15			2			何かあればすぐ対応してもらっている 職員の人数が多いので誰に言えばいいかわらぬときがある	何かあれば基本的にどの職員に伝えていただいてもいいこと、その内容に応じて発着音が担当したり経路が対応していく体制をわかりやすくお伝えしていく	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1		1			何を過ぎていたか、周りとの接し方など連絡帳などがあると嬉しい	その日の活動内容は日々の写真送付と共に伝えるように改善。周りとの接し方など細かい様子については別途電話等にて対応するようにする。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13			4					
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15			2						
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10			7					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2		6			児童本人が避難訓練に参加しているかが分からない	毎月、火事・地震・不審者・水害などテーマを変えて、児童と一緒に避難訓練を実施していることを、親御様に伝えるように発信していく。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17								
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		2			腹痛の時や、遊んでいて打った時など、速やかに電話をくれた		
満 足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	16		1				園よりもアーヤに行きたいというが増えた	不安そうな児童、まだ居場所が確立していない児童に目を配り、馴染めるように職員が支援していく	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14		1	2			まだ慣れない様子 アーヤの日は早起きして用意して待っている	まだ慣れない児童に目を配り、まずは職員と関わるなど、場に馴染めるように職員が支援していく	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16			1			食育(実践)が楽しく本人の自信にもつながっている 週1利用の子でも色々な分野の活動をしてくれてありがたい 親としては安心		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
アーヤ本巣		2026 年 3 月 20 日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10			
	3 生活空間は、 こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、 事業所の設備等は、 障害の特性に応じ、 バリアフリー化や情報伝達等、 環境上の配慮が適切になされているか。	10		コルクの敷物が良い(安全面より)	
	4 生活空間は、 清潔で、 心地よく過ごせる環境になっているか。また、 こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10			
	5 必要に応じて、 こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10		必要に応じて活動室とは離れた事務所も活用している	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、 広く職員が参画しているか。	10		日々の朝礼終礼により、 PDCAを迅速にまわしている	
	7 保護者向け評価表により、 保護者等の意向等を把握する機会を設けており、 その内容を業務改善につなげているか。	10		毎日の朝礼終礼の時間で保護者や児童の情報共有を行なっている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、 その内容を業務改善につなげているか。	10		毎日の朝礼終礼の時間で職員の意見を聞き、 業務改善を行なっている	
	9 第三者による外部評価を行い、 評価結果を業務改善につなげているか。	10			
	10 職員の資質の向上を図るために、 研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10		月に一度、 職員向けの教育研修を実施している	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、 公表されているか。	10		児発管同士で確認し合い、 他職員の意見も反映して作成を行なっている	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、 こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10		アセスメントやモニタリングを行い、 個別支援計画を作成している	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、 児童発達支援管理責任者だけでなく、 こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、 こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10		担当者会議にて支援員の意見を反映している	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、 計画に沿った支援が行われているか。	10			
	15 こどもの適応行動の状況を、 標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、 日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	10			
	16 放課後等デイサービス計画には、 放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、 こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、 その上で、 具体的な支援内容が設定されているか。	10			
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10		活動予定表は支援員全員の意見を反映し、 偏りのないようになっている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10		児童の課題も視野にいれながら新しい活動を取り入れ、 固定化にしないようになっている	
	19 こどもの状況に応じて、 個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、 支援が行われているか。	10			児童によって下校時刻が異なり、 宿題以外の個別活動を安定して取り入れられていないため、 適宜組み合わせた支援プログラムも今後検討している
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、 その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、 チームで連携して支援を行っているか。	10		毎日の朝礼において実施	
	21 支援終了後には、 職員間で必ず打合せを行い、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有しているか。	10		毎日の終礼において実施 情報の共有をしている	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげているか。	10		その日のうちに個人記録を記入し、 個別支援計画の策定やモニタリングに反映している	
	23 定期的にモニタリングを行い、 放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、 適切な見直しを行っているか。	10		個別支援計画の見直しのために定期的にモニタリングを実施している	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			「地域交流の活動」においては、 まだ安心して交流できそうな信頼関係の築けた場所や相手方が作れていないため、 今後確立していく
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、 自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		原則、 本人の意思を確認する支援を行なっている。 複数の選択肢を与えて確認している	
26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、 そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10				
27 地域の保健、 医療（主治医や協力医療機関等）、 障害福祉、 保育、 教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		必要な場合は情報共有の機会を設けている		

関係機関や保護者との連携	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	3		まだ対象児童がいいため実績はないが、今後そういったケースができれば当然、情報提供は行う
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	6		現状機会がないが、今後検討していく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	6		現状機会がないが、今後検討していく
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	6		現状機会がないが、今後検討していく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10		送迎時に今日の様子をお伝えしたり、必要に応じて電話等でもお伝えしている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10		月1で家族参加イベントの日を設け、情報の共有やヒアリング、必要に応じて講義等を行っている	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		契約時に説明をしている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10		ご家族の方に意向を聞き、意向を一番に尊重して作成している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10		計画書に沿って説明し、同意を得ている	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10		相談を受けたら迅速に対応している。送迎時、電話相談、家族支援の日など、相談しやすい機会を多く設けている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	10		月1で家族参加イベントの日を設けている	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		ご連絡を受けたら状況を確認しすぐに対応、職員への周知、迅速な改善を行なっている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	4		外部の方との交流は慎重に検討していきたい	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10		避難訓練を月1回行っている	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10		避難訓練を月1回行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		契約時に服薬状況を確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		事前にアレルギーの確認をし、除去。アレルギー情報は調理場の目に見えるところに掲示している。必要に応じて食器を使い分けている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10		ヒヤリハット報告書を記入し、対策を考え職員間で共有	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10		虐待防止のため研修を行い、職員同士でも指摘し合える環境づくりを行なっている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10		契約時にお伝えしている		